

広報

ひがみゅうかわ



20世紀の
子ども達



12
No.
474
2000

2000年に あったこと

2000年のこの一年は、皆さんにとってどんな一年でしたか？
国内では、地震や豪雨などの災害も多く報じられた反面、世界のオリンピックでは岐阜県出身の高橋尚子選手の活躍など明るい話題もありました。

東白川村の話題から、この一年を振り返ってみました。



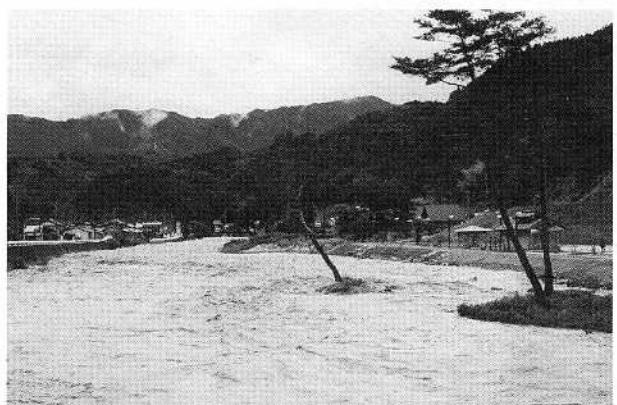
▲五加保育園閉園セレモニーでタイムカプセルを埋めました

- 三月
- 二月
- 一月
- ・「読み聞かせボランティア」開始
- ・中学三年生記念植樹
- ・東白川村成人式（四十五名）



▲テーマソング「花のやさしさ」（作詞／中島甲子生さん／柏本）を合唱

- 四月
- ・(有)新世紀工房の設立
- ・安江觀山（政敏）さん、清水寺奉納
- ・龍の屏風絵展開催
- ・みつば保育園（五加・神土合同保育）



▲大雨で増水した白川



▲エコトピア事業で第1期住宅が実現



▲国際ボランティアの皆さんが世界から東白川へやってきました



- ・の開始) スタート
- ・介護保険スタート
- ・㈱エコトピアの設立

五月

- ・つちのこフェスタ中川原水辺公園で開催
- ・「2000人の合唱・花のやさしさ(中島甲子生さん作詞)」参加(可)
- ・ウェルカム21ぎふ中濃イベント
- ・女性フォーラム開催

六月

- ・青空友遊リーダー研修
- ・カワゲラウオッチングの実施
- ・「かしも・白川流域連合協議会『総会』水サミット」の開催
- ・国際ボランティア来村(神社の清掃を始め、間伐体験実施や、村民宅で一日ホームステイ)
- ・香良洲町との交流ゴルフ大会
- ・ふるさと夏まつり

七月

- ・農村総合整備モデル事業の完成(昭和六十年から着工)
- ・第四十二回衆議院議員総選挙
- ・藤廣幸掛コンサート開催(昼夜二回の開演に村内外八百人を魅了)
- ・秋フェスタ
- ・冬フェスタ

八月

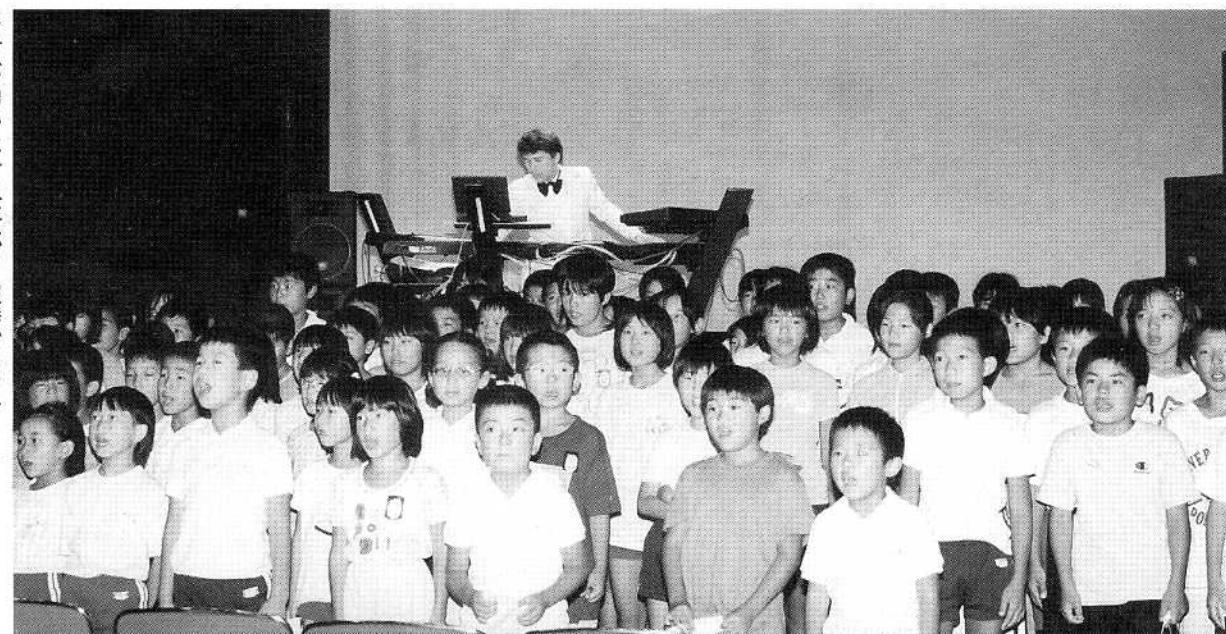
- ・藤廣幸掛コンサート開催(昼夜二回の開演に村内外八百人を魅了)
- ・国勢調査の実施
- ・村民いきいきウォーキング大会
- ・エコトピア住宅第一期募集者住宅完成、一号入居(大明神)

九月

- ・藤廣幸掛コンサート開催(昼夜二回の開演に村内外八百人を魅了)

十月

- ・秋フェスタ
- ・冬フェスタ
- ・上親田谷砂防ダム(スリットダム)完成



▶村が湧いた十三年ぶりの藤掛コンサート

話題集まれ！

コックさんや板前さんは男性が多く、家庭で台所に立つ人は女性が多い：そんな流れがちょっと前までありました。最近は、「主夫」なる男性もクローズアップされ、台所に立つ男性も増えてきました。ここ東白川村でも、「男の料理教室」を十一月二十二日（水）東白川中学校の調理室において開催したところ、二十代から七十代の男性十九名が参加し、料理に挑戦しました。

講師の西野貞子栄養士から、蓮根の落とし揚げ・大根のソテー・挽き肉とこんにゃくのふりかけなど五品目の作り方の指導を受け、全品目を一時間ほどで完成。

試食会では、「蓮根をやまいもにしてもいいですね」と、料理の応用を考える村雲一仁さん（平）や、「一・三回は続けてやってほしい」と話す木曾久仁雄さん（平）の他、習ったこの料理を家族に作ってやる計画のある参加者などの話で盛り上がりました。

今回参加された方も、料理本を片手に料理に挑戦してみてはいかがでしょう。

この九月には野田さんの手記「いのちの絵筆：口で描く私の人生譜」も出版されました。

今回野田展の開催は、平の澤木紀代子さんが新聞で野田さんの記事を読み、ぜひ本が読みたいと連絡をとられたことがきっかけで、事務局をされる田中妙子さん（野田さんの義理の姉）と手紙の交換から、野田さんの絵を東白川村の皆さんに見ていただこうというところへ発展。ボランティア有畠美会のメンバーや、たくさんの方の協力で開催場所や開催日がトントン拍子に決定し、村での個展が現実化されました。

十一月十日には、野田さん本人もこもれびを訪ね、自ら口に絵筆をくわえ絵を描いたり、個展に訪れた皆さんと交流を深められました。

「東白川村青少年の主張大会」が十一月十九日（日）はなのき会館にて開催。小学五年生から高校二年生までの六名が意見発表をしました。

その中で東白川小学校五年生の今井加那子さん（大沢）は、「たくさん（友だち）と題し友達の大切さを話し、東白川中学校一年生の安江真菜さん（柏本）は、家族で村外に出掛けた時感じた村の環境のよさを「この村が好きだから」と、今後も人々が住みやすい環境を考えていって欲しいことを訴えていました。村のジュニア・リーダークラブで活躍する白川高校二年生の今井戸母子さん（神付）は、自分の将来を就職に定め、「就職に対する考え方」を熱弁しました。

終わりに安江村長が、意見発表の講評と、村内の子供たちや若い世代の育成の重要性について講話をし、本大会を締めくくりました。

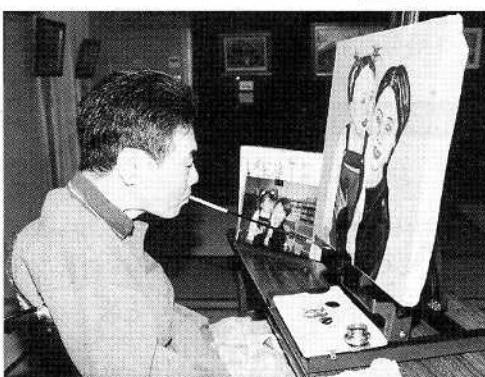
一流シェフに近づいた 男の料理教室

ただ今
奮闘中▼



感銘を受けた 野田武男展

個
展



▲一筆一筆写真を見ながら描かれます

21世紀を担う 子供達の意見

輝
き

青少年の主張大会



▲意見発表する皆さん



野田武男
絵画展

入場料

野田さんを囲んで (こもれびの里)

**生きがい事業
「花器」陶芸作品**

▲ 「オレンジパーティー」 安江真菜さん (柏本)
東白川中学校1年生
「平面構成」

▲ 「小物」 有田恭子さん (下親田)
東白川小学校5年生

▲ 「おもちゃかぼちゃ」 今井成美さん (宮代)
東白川中学校1年生



「それでも元気な私」
小手鞠 るい 著

花の京都は同志社へ、田舎娘がやってきた。
喫茶店、図書館、保育園、塾講師と仕事も変わ
るが、男も変わる。しかし、ある仕事にうちこんでいる人
の姿というのは、それがどんなであろうと美しく、人の胸
を打つものだ。執拗なセクハラやつらい失恋、悲しい離婚
にもめげず、すんだことをいちいちきにしても、しゃあな
いやんか…。愛と勇気とど根性の物語。

「はやくおきてよサンタさん」
マーカス・フィスター 著

ふかい雪にうもれた森の中の小さな家の中で、だれかが
ねむっています。ベットのふとんから赤いぼうしのさきっ
ぽがちょこんとはみ出しています。それは、サンタクロ
ースでした。サンタクロースが目をさました時には、部屋は
すっかり明るくなっていました。

さあ大変、クリスマスイブにねぼうしてしまったサンタ
クロースのプレゼントはまにあうのかな?

み一つけた!

巨峰の大きさの玉子の正体は、
サンショウウオでした。

(安江重治さん・平)

